# まるごと!西日本

発行：(公財)オイスカ西日本研修センター　まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311　FAX(092)803-0322
E-mail: oiscantc@oisca.org　検索　オイスカ西日本

Instagram　facebook

日頃の様子を更新中！是非チェックお願いします！

2022 年　カレンダー付録

## ご協力ありがとうございます！

**【11 月の新入会】**(敬称略)

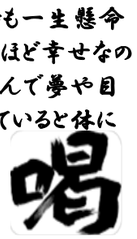
宮崎　康彦(センター)、木下　信義(長崎推協)

**【11 月の寄付品】**(敬称略)

九電生協、伊藤正、松永賀代子、グレゴリー、リナ、五味俊哉
高田川部屋、坂下瑞萌、安東幸太郎、ひよどり精肉店、角商店
日本エコシステム、ハートフィールド坂本、脇山保育園、ふくや
寺本まな、北原巌男、㈱カクマル、山田哲夫、福岡県護国神社
丸善自動車、kitchen サカトキ、アドワークス

## 鬼木大明神　今月の一句

今日も明日もまた次の日も働くときも遊ぶ時も一生懸命にやろうじゃないか！休む暇がない程忙しい身ほど幸せなのだ！！時間は止まってくれません。時間を惜しんで夢や目標に向かって懸命に突き進め！！厭々やっていると体に悪いし、つらいだけだ。楽しんで気持ち良くそして晴れやかに働き、遊べば健康になれるし、幸福が待っているのだ！！




11 月 28 日に第7回「本と羊」マルシェをしました。おかげさまで一周年を迎えることができました。**今年最後のマルシェは 12 月 19 日の予定です！**(園田)

## 大阪マラソン2022で走ります！

西日本研修センターの園田です。2022 年 2 月の大阪マラソンでチャリティランナーとして走ります。大阪マラソンでは 7 つのチャリティテーマがあり、各分野で活動する寄附先団体の中にオイスカが含まれています。オイスカへの寄付金は東日本大震災で失われた海岸林を再生するプロジェクト（宮城県名取市）において、苗から育てたクロマツ 37 万本が植えられた植栽地、約 100ha の草刈りやマツの成長に悪影響を及ぼすニセアカシア･クズ枯殺処理、本数調整伐（間伐）等の育林作業に活用させていただきます。

QR コードから大阪マラソンのオイスカのページが見られますので“**すーさん**”にご寄附をしていただくと海岸林プロジェクトを支援できます。私の他にも各地のオイスカスタッフ、会員さまがマラソンに挑戦します。私はマラソン経験がありませんが、完走できるように練習しているところです。ご協力よろしくお願いいたします。

OSAKA MARATHON 2022

**こちらの QR コードです！⇒**

## 12 月の予定

13 日 早良高校職場体験(14 日まで)
13 日 福岡女学園農業体験
25 日 餅つき大会
29 日 仕事納め(1 月 4 日仕事始め)

## 体験農園だより

11 月に入り、寒さが厳しくなりましが、体験農園では一足先にナバナやカツオナが収穫時期を迎えています。ダイコンやニンジン、ブロッコリー、キャベツ、ホウレンソウなどは一部の区画で収穫が始まっています。また先月末より、春夏に植えたサトイモ(3 月植付)やサツマイモ(6 月植付)、ネギ(6 月植付)も収穫が始まっています。特に今年のサツマイモは出来が良いものが多いようで、待ちに待ったイモの収穫ということもあって、参加者の方々に喜んでいただいています。

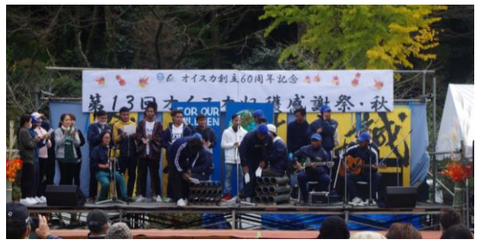
12 月には味噌づくりや餅つき大会といったイベントが控えています。無事にイベントが開催できるように、コロナウイルスが流行しないことを祈るばかりです。これから冬本番に入りますので、体調を崩されないようにお気を付けくださいませ。(飯川)

## 佐賀国際フェスタ出演･出店

10 月 31 日に小城公園で行われた佐賀国際フェスタに出店とステージ出演をさせていただきました。出店ブースでオイスカ佐賀推進協議会の皆様と一緒にオイスカで採れた野菜、漬物などの加工品、アジアン雑貨の販売をしました。ステージ出演は今年度初めてで、研修生の帰国後のプランの紹介、PNG の歌を研修生とスタッフで歌いました。オイスカの他にも NGO や国際交流団体、各国料理のブースがたくさんあり、とてもにぎやかなイベントでした。(園田)

## 収穫感謝祭･秋　開催

11 月 13 日に毎年恒例の「収穫感謝祭･秋」を開催しました。その週の初めより降り続いた雨も当日の明け方には止み、グランドは濡れたままでしたが、約 1500 名の参加者で盛大に開催出来ました。もちろんコロナ感染対策をしっかりと行い、それでも多くの人でセンターも活気づきました。出店も例年通り多数参加、また、ステージプログラムも充実した内容で、イベント最後の抽選会まで本当に多くの方に残って頂きました。今年は大相撲九州場所も開催されることもあり、高田川部屋一行もセンターに滞在していました。相撲協会の規則でイベント参加はできませんでしたが、「特製塩ちゃんこ」はしっかりと提供頂きました。来年の収穫祭はより一層の賑わいになるよう、早くコロナが終わってほしいものです。そして新しい研修生と一緒に皆さんと交流できることを楽しみにしております。当日を含め、お手伝い頂きましたボランティアの皆様、本当に感謝致します。(廣瀬)



## オイスカ農業ボランティア慰労会＆研修生お別れ会開催

今年は新研修生の入国も叶わず、センターの農場は大変でした。それを多くの方々に心配頂き、企業、団体、学生等の皆様、延べ約 500 名の方々にお手伝い頂き、何とか乗り越えることができました。収穫祭も一段落し、ボランティアにご参加頂いた方に声を掛け、センターの屋外にて慰労バーベキューを開催しました。約 50 名の方に参加頂き、また、帰国予定の研修生のお別れ会も兼ねて楽しい慰労会となりました。餅つき、イノシシの丸焼きも提供し、参加者からも沢山の差し入れを頂戴し、研修生も大満足。参加者の皆さんもお腹いっぱいになられたことでしょう。 また機会を見つけてイベントを含めて、皆さんが楽しめる会を企画します。オイスカボランティア大歓迎ですので、是非ともお声かけ下さいませ。(廣瀬)

## 九電生協宿泊研修

11 月 2 日～3 日にかけて、九電生協様より 6 名来社され、オイスカ農場ボランティアに参加頂きました。まだ気候も暖かく、農産物の収穫、販売準備、さつまいも掘り等、2 日間にかけてしっかりとお手伝い頂きました。コロナ前では、例年 20 名近くの方々が研修で来所されるのですが、今回は執行部の方々のみの参加となりました。夕食時には、研修を延長した研修生と一緒に交流会を行い、研修生にとっても貴重な交流となりました。来年はもっと多くの方が参加されることを願っております。お疲れ様でした。(廣瀬)

## 農場研修風景

今年は、冬の寒さがいつもより早くやってきたので、11 月下旬の朝の収穫をするときに手が冷たくて大変でした。その頃は、収穫を始める時間が 6 時 30 分からで、周りはまだ暗いのでじっくり見ながらニンジンやネギの収穫をするのですが、ニンジンの葉っぱが凍っているので、それを抜くときは手がものすごく冷たくて、指に息を吹きかけながら作業をします。

そして、収穫を終えて周りが明るくなると、一面に霜が降りて真っ白な世界が広がっているのです。その景色はとても幻想的で寒さを忘れて見てしまうほどきれいなのです。毎年の事ではありますが、冬の農作業は寒くて大変ですが、研修生にとっては冬の体験も日本での大切な思い出となり、大変な冬を乗り越える事で大きな自信にもつながります。これから更に寒い日が続きますが、冬ならではの楽しい思い出を作っていきましょう。(豊田)

## 第 8 回大野城市日本語スピーチコンテスト参加

11 月 7 日に大野城市にてスピーチコンテストが行われ、センターから 2 名の研修生が参加しました。例年はセンターでコンテストの参加者を募ると、主に女性研修生が積極的に手を挙げることが多かったです。今年は、コロナの影響で残った研修生は男性 4 名でした。積極的に手を挙げる人はおらず、こちらからの声掛けで決まった人がフィジー研修生パウさん。後々主催者側から参加者が少ないとお願いがあり、決まったのが PNG 研修生アフィーさんです。当日は大学生 3 名も含めて５人で日本語のスピーチを競いました。テーマは「私が思う国際交流・国際協力」で、8 月頃から、原稿作成に取り掛かり、当日までに約 4 分のスピーチを覚えなければなりませんでした。パウさんは、毎日の研修後、一生懸命練習に取り組んでいました。アフィーさんは、ホームステイ先でも、練習していました。

●パウさん: フィジー人から見た日本のいいところを述べ、国でも取りいれたいと話しました。そして、フィジーにもいいところがあると述べ、国際交流をとおして、お互いの国の良さを発見し、それぞれの国の良さを取り入れたら、世界はきっともっといい世界になると伝えました。トップバッターでしたが、練習の成果が出ていて 堂々と話すことができました。

●アフィーさん: 私の夢は自分のビジネスをすること。今ある問題を解決するために、農業機械を購入し、若者に農業を教えたいと話しました。そのために、自ら日本で学び、私にとっての国際交流は夢をかなえるための国際交流だと述べました。練習不足で読み飛ばしもありましたが、最後までスピーチすることができました。PNG の帽子をかぶり、2年間日本で研修した PNG 人が日本にいるという存在感を持って伝えることができたと思います。

結果は、**パウさん**が**第 2 位**を受賞しました。2 人にとって、この経験は、今後の自信につながるものになったことと思います。来年は新研修生のだれがチャレンジしてくれるか楽しみです。(立石考子)

## 熊本阿蘇農業施設見学

11 月 27 日(月)、オイスカ会員でもあります油機エンジニアリングの牧田会長が経営している、熊本県の阿蘇市にある葉物栽培を中心とした農業施設の見学に研修生と行ってきました。施設のある場所がちょうど阿蘇の盆地の真ん中にあり、360 度阿蘇の大カルデラが見渡せる絶景の場所にありました。

見学した農業施設は、今年から本格的に栽培を始めたという事で、いろいろと工夫をしながら 20 品目の葉物野菜を栽培し、ホテルやレストランに出荷しているということでした。

短い時間でしたが施設内で葉物野菜の播種作業の体験もさせてもらい、良い勉強の機会となりました。農業施設の見学の後は、近くにある阿蘇の名所「大観峰」を見学して帰ってきました。(豊田)

## ホテルオークラ福岡 社員研修

11 月 24 日(水)、ホテルオークラ福岡の 3 年目の社員 16 名が参加して、農業体験を中心とした研修が実施されました。午前中はオイスカの活動紹介と、研修生からの国の紹介やアクションプランの発表、そしてパプアニューギニアとフィリピンの料理づくりを行いました。久々の料理づくり交流でしたので美味しく出来るか心配でしたが、オークラの社員の皆さんはお菓子作りに携わっている方も多く、手慣れた手つきで準備や片づけを行ってくれたので大変助かりました。料理の味も最高でした。そして午後からは、農業体験でサツマイモやニンジン、長ネギの収穫体験を行いました。殆どの方が初めて収穫の作業を体験するということで、皆さん楽しそうに作業に取り組んでくれました。作業の最中には、取れたてのニンジンやキャベツの試食をしてもらい、野菜の甘さに皆さん驚いていました。短い時間でしたが、久々の交流会という事でお互いに楽しい時間を共有できて、研修生にとっても帰国前に良い思い出をつくることが出来ました。(豊田)

## 福岡県庁農産物販売会

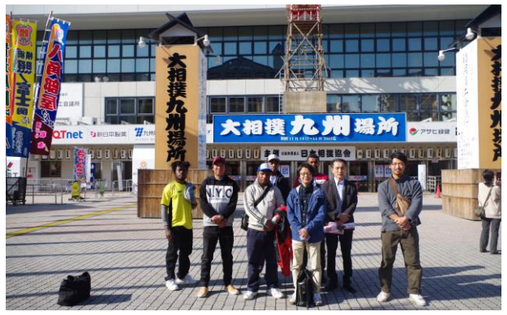
11 月 25 日と 26 日に福岡県庁の1回ロビーにて農産物の販売会をさせていただきました。今回の販売会では春菊、ホウレンソウ、自然薯が人気で売り切れとなりました。サツマイモやジャガイモもよく売れました。2 日目にはオーブンで焼いたサツマイモを試食として用意し、皆様に食べていただきました。里芋は残念ながらほとんど売れず。美味しいのですが…！福岡県庁での販売会には毎回たくさんの人が来て下さります。福岡県庁国際局の皆様、農産物をご購入して下さった皆様ありがとうございました！(園田)

## 宝珠山百年の森づくり

11 月 23 日(火・祝)に、東峰村で約 2 年ぶりに開催された「宝珠山百年の森づくり」に参加しました。当日は眞田村長も参加され、地元の方々など 50 名ほど参加されました。35 本の樹木を参加者と共に植樹しました。植樹後の BBQ ではカレーや野菜炒めなどをいただき、福岡市のカントリーバンドの演奏を楽しみました。演奏中には研修生もギターとバンブーバンドを持って参加。バンドの方々と共に会場を盛り上げてくれました。(飯川)

## 大相撲九州場所観戦ご招待

11 月 17 日、福岡リバティライオンズクラブより海外の研修生並びにスタッフを九州場所の見学にご招待いただきました。2年ぶりの九州場所となり研修生たちは日本の国技を見学して、力士同士の迫力ある取り組みに思わず手をたたき、髙田川部屋力士の出番になると横断幕や拍手を送るなどして力強い応援をしました。 研修生たちにとりましてはコロナ禍で行事も少ない中、帰国前の九州場所の相撲観戦で迫力ある雰囲気に刺激を受け、日本での貴重な良き思い出の一つになったことと思います。毎回ご招待をいただき本当にありがとうございます。(満川)



## 会員様紹介　宮崎推進協議会　松本シモ子様

オイスカ会員としては 20 代の頃からオイスカ活動に参加をされています。これまでも東南アジアの色んな国々出かけて植林活動をされ、国内では海岸林再生プロジェクト計画で宮城県の方へ足を運ばれ、松の手入れなどのボランティア作業に２回参加をしていただきました。宮崎県推推進協議会にとってはなくてはならない人です。現在では会員さんの平均年齢も高くなってきましたが、これからもご主人様共々、会員さんと一緒に活動してまいりますので引き続きの応援をよろしくお願いします。宮崎県はやきとりや牛それにマンゴーが有名な県です。宮崎県へお越しの際はぜひ食べられてみてください。（宮崎県推協事務局 加治屋）

2018 年フィジーにて

宮城県名取市でのボランティア活動

## オイスカと早良高校との連携協力に関する協定書締結式

11 月 24 日、公益財団法人オイスカと福岡県立早良高校との連携協力に関する協定書を締結しました。当日は早良高校の校長室で午後３時より始り、オイスカ西日本研修センターからは廣瀬所長はじめ海外の研修生 4 名が参加して、早良高校からは太田校長並びに後藤教頭、生徒会からは生徒会長、副会長はじめ各学年より 1 名ずつ参加をして行われました。　オイスカ西日本研修センターと早良高校は隣接していることから長年にわたり交流を続けてきました。特に今年はコロナ禍で新研修生も来日できず、早良高校から学生さんが農業ボランティアとして参加をして頂いたお陰で交流の機会も生まれました。協定書の趣旨説明では、これまで積み上げてきた関係をもとに地域社会の振興や国際的異文化交流、環境保全の分野においてもグローバルな視点を持ち持続可能な社会実現に貢献できる人材の育成を目的に締結式が行われました。今後は協定書が結ばれたことで交流の目的が更に明確化され、早良高校との関係が一層強化されていくことになります。　これからも宜しくお願いします。（満川）

## OB 研修生紹介コーナー

今回の OB 研修生の紹介は、カンボジアのソテラさんです。ソテラさんは 2011 年の研修生で、背が高くて、まあまあのイケメンで誠実な好青年でした。ソテラさんはいったい今何をしているのでしょうか。結婚はしているのでしょうか。それではソテラさんにインタビューをしたのでご覧ください。

**日本から帰ってから何をしていましたか？→**　私は日本から帰った後、2 年間お米の会社で働きました。その後、農林水産省に職員として採用され、最初はタイへ 2 年間大学に通い修士課程を卒業しました。そして、現在にいたるまで農水省で働いています。家は首都のプノンペンにあります。

**結婚はしましたか？→**　まだしていません。残念。

**将来の目標、プランはありますか。→**　近い将来お金が貯まれば、農業や何か関連するビジネスをしたいです。それと、私は、農民と普及員のためのトレーニングを実施し、さまざまな普及方法を通じて農業技術を農民に移転する仕事をしたいです。 私は実際に農業普及の知識がまだ不足していますが、仕事は楽しいのでこれからも農民のためにがんばります。

以上、まだ結婚していないソテラさんでした。早く結婚出来るといいですね。（大きなお世話ですが）

## 研修生アクションプラン

11 月 20 日にセンターで研修生 4 名がアクションプランの発表をしましたので、皆様に紹介したいと思います！

1 月から 3 月まで、オイスカフィジーでボランティアをします。そして時間の大切さや、野菜の作り方と管理を教えます。4 月から若い人達と畑の準備をして、チンゲン菜、ナス、カボチャ、スイカを育てる予定です。（パウ）

ラバウルセンターで研修生に農業を教えたいです。3 年働いた後は故郷でお米やカカオの栽培と養鶏をしたいです。（マックス）

オイスカヌエバエシハセンターの研修生に農業を教え、稲作や日本語、日本文化を教えたいです。また農業機械のレンタルサービスや整備もしたいです。（ジェレミー）

家族と一緒に野菜、お米、養鶏をしたいです。2027 年にパプアニューギニアの西部州で知事選挙が行われるので、立候補したいです。（アフィー）